

# 物流における環境配慮

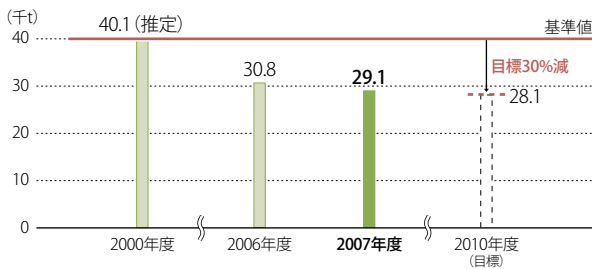
サプライチェーン全体を見据えた物流の合理化・効率化を推進し、環境負荷の低減に努めています。

## 物流に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減

富士通グループでは、グループ各社の物流部門が連携し、製造部門や営業部門と協力して、輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進する「グリーン物流活動」を推進しています。また、取引先とのパートナーシップを活かして、サプライチェーン全体に渡って、物流に伴う環境負荷の低減に努めています。

第5期環境行動計画では、輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量を2010年度末までに2000年度比30%削減する目標を掲げています。その目標の達成をめざして、富士通グループでは、モーダルシフトの適用拡大を図るほか、積載効率の向上などに引き続き取り組んでいます。

### 輸送CO<sub>2</sub>排出量推移(富士通)



### モーダルシフトの適用拡大

富士通では、韓国向けのパソコン輸送のモーダルシフト化を図っています。2007年7月より、12フィート鉄道用コンテナを用いた「陸海一貫輸送(島根富士通～鉄道～下関～船舶～釜山)」を開始し、鉄道輸送と海上輸送を効果的に活用することでCO<sub>2</sub>排出量の削減を図っています。

また、富士通では、半導体やパソコンの修理用部品の輸送において、航空便輸送の比率を引き下げることでCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。

### パーソナルビジネス本部がエコレールマーク認定を取得

富士通のパーソナルビジネス本部は、鉄道貨物輸送を活用し、地球環境問題に積極的に取り組んでいる商品・企業であることを表示するエコレールマーク認定を取得しました。



エコレールマークは、2008年度4月発売モデルより企業向けパソコンのカタログに掲載されています。

## トラック台数の削減

富士通では、国内向けパソコンの輸送ルートの見直しや貨物の積み方の改善(段積み数の増加)などを行った結果、国内向けパソコンの輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量を約8%削減しました。

また、那須工場、島根富士通では生産革新活動の推進により、外部の倉庫を廃止し、工場内で製品の保管、出荷を行うことで工場～倉庫間の輸送を削減しました。

### 経済産業大臣表彰を受賞

富士通は「平成18年度 グリーン物流パートナーシップ推進事業」のモデル事業「部品調達から製品配送まで一貫した集中配車コントロールによるCO<sub>2</sub>削減の取り組み」を実施し、2007年12月に経済産業大臣表彰を受けました。

この取り組みでは、川上から川下までサプライチェーン全体に渡って企業が協力し物流効率化を進めたほか、CO<sub>2</sub>排出量の把握と算定について、車載端末の実測データおよび輸送明細データからCO<sub>2</sub>排出量を自動算定する先進的なツールを構築。また、物流センターの統廃合や物流情報のデータ化など物流効率化に向けた取り組みを複合的に推進しており、そうした点が評価されました。

## 物流に伴う環境負荷の低減

富士通グループでは物流プロセス全体での環境負荷の低減を進めるべく、製品や部品の包装において3R化の推進を進めています。

### 半導体専用通い箱の活用

富士通グループ間の半導体輸送において、小型コンテナを通い箱として運用することで、外装ダンボール箱の廃止と衝撃緩衝材のリユースを実現し、梱包資材の使用量を大幅に削減しました。



半導体専用通い箱と富士通ITプロダクツでの活用の様子

お客様とともに

社員とともに

株主・投資家のために

お取引先とともに

国際社会・地域社会とともに

地球環境のために